



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月30日

上場会社名 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 上場取引所 東証第一部、大証第一部、福証
 コード番号 8354 (URL <http://www.fukuoka-fg.com/>)
 代 表 者 取締役会長兼社長 谷 正 明 TEL (092) 723-2502
 問合せ先責任者 経営企画部長 吉 田 泰 彦

(百万円未満切捨て)

本開示資料に記載する数値は、監査法人による監査を受けておりません。

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	59,775	(-)	10,011	(-)	5,561	(-)
19年3月期第1四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)
19年3月期	-		-		-	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株 当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	7	52	7	31
19年3月期第1四半期	-	-	-	-
19年3月期	-	-	-	-

(注) 当社は、平成19年4月2日設立のため、前年同期及び前年度の計数は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	9,339,677	530,316	5.1	647 83
19年3月期第1四半期	-	-	-	- -
19年3月期	-	-	-	- -

(注) (1) 当社は、平成19年4月2日設立のため、前年同期及び前年度の計数は記載しておりません。

(2) 自己資本比率は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	1株あたり配当金	
(基準日)	第1四半期末	
	円	銭
20年3月期第1四半期	-	-
19年3月期第1四半期	-	-

3. 平成20年3月期連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

平成19年5月14日発表の業績予想に変更はございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
〔新規 - 社 除外 - 社 〕 : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

ふくおかフィナンシャルグループ（以下当社）は、本年4月2日に福岡銀行と熊本ファミリー銀行の共同株式移転により設立されました。当社は、金融サービスの向上を通じて地域社会に対してより多くの貢献を果たすとともに、企業価値を持続的に成長させることで、ステークホルダーの期待を超える金融グループを目指してまいります。

当第1四半期の業績については、統合シナジーを早期に最大化させるため、中期経営計画諸施策を積極的に実行した結果、以下のとおりとなりました。

損益面につきましては、連結経常収益は、貸出金利息等資金運用収益及び役務収益の拡大に努めた結果、598億円となりました。連結経常費用は、経営全般にわたる合理化を進めましたが、設立にかかる諸費用及び株式等関係損失を計上し、498億円となりました。その結果、連結経常利益は100億円、連結四半期純利益は56億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1） 預金・譲渡性預金

預金残高は、個人預金が順調に推移したこと等により、7兆8,923億円となりました。また、譲渡性預金の残高は、3,788億円となりました。

（2） 貸出金

貸出金残高は、地元企業を中心とした新規開拓や総合取引の拡大に努め、また個人のお客さまの住宅ローンをはじめとしたニーズにも積極的にお応えしました結果、6兆2,745億円となりました。

（3） 有価証券

有価証券残高は、安全性と収益性の両面に留意して投資の多様化を図りました結果、2兆384億円となりました。なお、有価証券の大部分を占める「その他有価証券」の評価差益は、610億円となりました。

（4） 資産運用商品

お客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えしました結果、2行合算で個人預かり資産残高は、1兆609億円（投資信託3,782億円・個人年金保険2,448億円・外貨預金210億円・公債4,169億円）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年5月14日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

（1） 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はございません。

（2） 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

【簡便な手続の内容】

貸倒引当金につきましては、6月末時点の債務者格付けに基づく対象残高に、子銀行の前事業年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）で使用したデフォルト率等を適用して算出しております。

当第1四半期における税金費用につきましては、簡便法による税効果会計を適用しているため、法人税等調整額は四半期連結損益計算書「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

（3） 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当ありません。

5．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期(A) (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期(B) (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減 (B) - (A)	(参考)前期末 (平成19年3月 期末)
	金 額	金 額	金額 増減率	金 額
(資産の部)				
現金預け金		500,361		
コールローン及び買入手形		72,554		
買入金銭債権		118,574		
特定取引資産		1,686		
有価証券		2,038,430		
貸出金		6,274,562		
外国為替		4,690		
その他資産		113,596		
有形固定資産		144,975		
無形固定資産		68,073		
繰延税金資産		38,541		
支払承諾見返		67,175		
貸倒引当金		103,543		
資産の部合計		9,339,677		
(負債の部)				
預金		7,892,337		
譲渡性預金		378,803		
コールマネー及び売渡手形		13,030		
債券貸借取引受入担保金		115,712		
借用金		49,629		
外国為替		305		
社債		124,981		
新株予約権付社債		4,835		
その他負債		115,915		
退職給付引当金		11,057		
利息返還損失引当金		1,136		
その他の偶発損失引当金		23		
再評価に係る繰延税金負債		34,364		
負ののれん		51		
支払承諾		67,175		
負債の部合計		8,809,360		
(純資産の部)				
資本金		100,000		
資本剰余金		101,225		
利益剰余金		233,396		
自己株式		42,625		
(株主資本合計)		(391,996)		
その他有価証券評価差額金		38,401		
繰延ヘッジ損益		1,297		
土地再評価差額金		46,939		
(評価・換算差額等合計)		(86,639)		
少数株主持分		51,680		
純資産の部合計		530,316		
負債及び純資産の部合計		9,339,677		

(注) 1．記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2．当社は平成19年4月2日設立のため、前年同期及び前年度の計数は記載しておりません。

(2)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期(A) (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期(B) (平成20年3月期 第1四半期)	増減 (B) - (A)	(参考) 前期末 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額 増減率	金 額
経常収益		59,775		
資金運用収益		44,243		
(うち貸出金利息)		(33,001)		
(うち有価証券利息配当金)		(10,161)		
信託報酬		-		
役務取引等収益		9,726		
特定取引収益		196		
その他業務収益		4,218		
その他経常収益		1,390		
経常費用		49,763		
資金調達費用		10,904		
(うち預金利息)		(4,748)		
役務取引等費用		2,591		
特定取引費用		0		
その他業務費用		2,974		
営業経費		25,992		
その他経常費用		7,299		
経常利益		10,011		
特別利益		14		
特別損失		146		
税金等調整前四半期(当期)純利益		9,880		
法人税、住民税及び事業税		4,234		
法人税等調整額		-		
少数株主利益 (は少数株主損失)		84		
四半期(当期)純利益		5,561		

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、平成19年4月2日設立のため、前年同期及び前年度の計数は記載しておりません。

(3)四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計
平成19年3月31日残高	79,890	58,165	231,025	10,758	358,322
四 半 期 連 結 会 計 期 間 中 の 変 動 額					
株式移転による増減	20,109	43,060		31,781	31,387
剰余金の配当			3,205		3,205
四半期純利益			5,561		5,561
自己株式の取得				94	94
自己株式の処分		0		8	8
土地再評価差額金の取崩			15		15
株主資本以外の項目の 当四半期連結会計期間 中の変動額（純額）					
四 半 期 連 結 会 計 期 間 中 の 変 動 額 合 計	20,109	43,059	2,371	31,866	33,673
平成19年6月30日残高	100,000	101,225	233,396	42,625	391,996

（単位：百万円）

	評 価 ・ 換 算 差 額 等				少 数 株 主 持 分	純 資 産 計
	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッジ 損 益	土 地 再 評 価 差 額 金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	45,912	77	46,955	92,790	51,393	502,506
四 半 期 連 結 会 計 期 間 中 の 変 動 額						
株式移転による増減						31,387
剰余金の配当						3,205
四半期純利益						5,561
自己株式の取得						94
自己株式の処分						8
土地再評価差額金の取崩						15
株主資本以外の項目の 当四半期連結会計期間 中の変動額（純額）	7,511	1,375	15	6,150	287	5,863
四 半 期 連 結 会 計 期 間 中 の 変 動 額 合 計	7,511	1,375	15	6,150	287	27,810
平成19年6月30日残高	38,401	1,297	46,939	86,639	51,680	530,316

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当社および連結子会社は、銀行業以外に保証業等を営んでおりますが、それらの全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

【所在地別セグメント情報】

全セグメントの経常収益の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【参考】個別業績の概況 (株式会社 福岡銀行分)

平成19年 7月30日

会社名 株式会社 福岡銀行
(URL <http://www.fukuokabank.co.jp/>)
代 表 者 取締役頭取 谷 正 明 (TEL 0 9 2 - 7 2 3 - 2 6 2 2)
問合せ先責任者 執行役員総合企画部長 吉 田 泰 彦

本開示資料に記載する数値は、監査法人による監査を受けておりません。

(百万円未満切捨て)

平成20年 3月期第 1 四半期の業績 (平成19年 4月 1日 ~ 平成19年 6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年 3月期第 1 四半期	50,112	(20.0)	9,773	(22.7)	5,765	(22.8)
19年 3月期第 1 四半期	41,768	(1.3)	12,647	(13.0)	7,467	(26.0)
19年 3月期	177,829		56,347		32,984	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株 当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年 3月期第 1 四半期	7	90	7	81
19年 3月期第 1 四半期	11	1	10	37
19年 3月期	48	25	45	71

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年 3月期第 1 四半期	8,103,003	457,162	5.6	626 61
19年 3月期第 1 四半期	7,742,128	398,777	5.2	587 76
19年 3月期	7,984,001	447,249	5.6	627 86

(注) 自己資本比率は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

四半期個別財務諸表

1. (1) 四半期貸借対照表

株式会社 福岡銀行

(単位: 百万円)

科目	前年同四半期 (A) (平成19年 3月期 第1四半期末)	当四半期 (B) (平成20年 3月期 第1四半期末)	比較増減 (B)-(A)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年 3月31日)
	金額	金額	金額	金額
(資 産 の 部)				
現 金 預 け 金	183,594	480,759	297,165	190,879
コ ー ル 口 ー ン	168,761	72,554	96,207	72,400
買 入 金 銭 債 権	74,651	110,702	36,051	100,620
特 定 取 引 資 産	13,278	1,686	11,592	7,900
有 価 証 券	1,969,577	1,872,647	96,930	2,044,291
貸 出 金	5,146,697	5,340,147	193,450	5,380,802
外 国 為 替 資 産	3,855	4,134	279	2,758
そ の 他 資 産	53,661	90,434	36,773	53,374
有 形 固 定 資 産	127,998	130,006	2,008	128,979
無 形 固 定 資 産	8,366	8,172	194	7,947
繰 延 税 金 資 産	7,332	5,835	1,497	3,653
支 払 承 諾 見 返 金	59,976	53,230	6,746	57,498
貸 倒 引 当 金	75,625	67,307	8,318	67,105
資 産 の 部 合 計	7,742,128	8,103,003	360,875	7,984,001
(負 債 の 部)				
預 金	6,559,107	6,704,012	144,905	6,778,724
譲 渡 性 預 金	386,465	373,703	12,762	153,687
コ ー ル マ ネ ー	6,223	61,030	54,807	12,157
債券貸借取引受入担保金	127,748	115,712	12,036	120,309
特 定 取 引 負 債	1,863	-	1,863	3,832
借 用 金	45,131	100,729	55,598	184,049
外 国 為 替 債	201	301	100	284
社 債	50,000	114,981	64,981	111,074
新 株 予 約 権 付 社 債	20,362	4,835	15,527	5,047
そ の 他 負 債	51,803	82,895	31,092	75,663
利 息 返 還 損 失 引 当 金	-	1,136	1,136	1,141
再評価に係る繰延税金負債	34,466	33,271	1,195	33,282
支 払 承 諾	59,976	53,230	6,746	57,498
負 債 の 部 合 計	7,343,350	7,645,840	302,490	7,536,752
(純 資 産 の 部)				
資 本 金	72,216	79,997	7,781	79,890
資 本 剰 余 金	50,413	58,164	7,751	58,058
利 益 剰 余 金	203,064	229,840	26,776	227,265
自 己 株 式	10,528	5	10,523	10,752
株 主 資 本 合 計	315,166	367,997	52,831	354,463
その他の有価証券評価差額金	34,088	40,927	6,839	45,908
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	811	1,297	486	77
土 地 再 評 価 差 額 金	48,711	46,939	1,772	46,955
評価・換算差額等合計	83,611	89,165	5,554	92,785
純 資 産 の 部 合 計	398,777	457,162	58,385	447,249
負債及び純資産の部合計	7,742,128	8,103,003	360,875	7,984,001

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 四半期損益計算書

株式会社 福岡銀行

(単位: 百万円)

科目	前年同四半期 (A) (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年 6 月30日)	当四半期 (B) (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日)	比較増減 (B)-(A)	前事業年度の 要約損益計算書 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)
	金額	金額	金額	金額
経常収益	41,768	50,112	8,344	177,829
資金運用収益	31,714	37,179	5,465	135,338
(うち貸出金利息)	(22,904)	(26,605)	(3,701)	(97,860)
(うち有価証券利息配当金)	(8,405)	(9,526)	(1,121)	(35,318)
信託報酬	-	-	-	2
役務取引等収益	8,030	8,608	578	34,067
特定取引収益	443	196	247	2,448
その他業務収益	568	2,962	2,394	2,305
その他経常収益	1,011	1,164	153	3,666
経常費用	29,121	40,339	11,218	121,481
資金調達費用	5,855	10,324	4,469	30,121
(うち預金利息)	(908)	(3,871)	(2,963)	(7,528)
役務取引等費用	2,527	2,690	163	12,612
特定取引費用	—	0	0	—
その他業務費用	518	2,565	2,047	1,199
営業経費	18,863	19,092	229	71,655
その他経常費用	1,356	5,666	4,310	5,891
経常利益	12,647	9,773	2,874	56,347
特別利益	-	11	11	0
特別損失	143	130	13	1,499
税引前四半期(当期)純利益	12,504	9,654	2,850	54,849
法人税、住民税及び事業税	5,037	3,888	1,149	22,962
法人税等調整額	-	-	-	1,098
四半期(当期)純利益	7,467	5,765	1,702	32,984

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式会社 福岡銀行

2. 四半期財務情報作成のための基本となる事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当行は、中間財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

【簡便な手続の内容】

貸倒引当金につきましては、平成19年6月末時点の債務者格付けに基づく対象残高に前事業年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）で使用したデフォルト率等を適用して算出しております。

当第1四半期における税金費用については、簡便法による税効果会計を適用しているため、法人税等調整額は四半期損益計算書「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当ありません。

【参考】個別業績の概況（株式会社 熊本ファミリー銀行分）

平成19年 7月30日

会社名 株式会社 熊本ファミリー銀行

（URL <http://www.kf-bank.jp/>）

代 表 者 取締役頭取 中村 一利

（TEL 0 9 6 - 3 8 5 - 1 1 1 6 ）

問合せ先責任者 総合企画部長 黒瀬 英夫

本開示資料に記載する数値は、監査法人による監査を受けておりません。

（百万円未満切捨て）

平成20年 3月期第 1 四半期の業績（平成19年 4月 1日～平成19年 6月30日）

（ 1 ）経営成績

（ %表示は対前年同四半期増減率 ）

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年 3月期第 1 四半期	8,515	(0.1)	381	(—)	363	(—)
19年 3月期第 1 四半期	8,526	(1.4)	51,166	(—)	46,208	(—)
19年 3月期	35,093		61,797		57,034	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株 当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年 3月期第 1 四半期	2	95	2	42
19年 3月期第 1 四半期	376	87	—	—
19年 3月期	464	17	—	—

（ 2 ）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率（注）	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年 3月期第 1 四半期	1,308,875	9,495	0.7	242	59
19年 3月期第 1 四半期	1,277,513	19,832	1.6	161	38
19年 3月期	1,316,455	9,800	0.7	240	12

（注）自己資本比率は、（期末純資産の部合計-期末新株予約権）を期末資産の部合計で除して算出しております。

四半期財務諸表

1. (1) 四半期貸借対照表

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位: 百万円)

科目	前年同四半期 (A) (平成19年 3 月期 第1四半期末)	当四半期 (B) (平成20年 3 月期 第 1 四半期末)	比較増減 (B)-(A)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年 3 月31日)
	金額	金額	金額	金額
(資 産 の 部)				
現金預け金	95,535	21,902	73,633	63,148
コール口	—	48,000	48,000	—
買入金銭債権	1,286	125	1,161	136
金銭の信託	3,938	—	3,938	—
有価証券	182,936	235,196	52,260	234,213
貸出金	991,195	953,455	37,740	980,574
外国為替	677	555	122	440
その他の資産	7,597	15,476	7,879	5,731
有形固定資産	17,024	17,384	360	17,424
無形固定資産	553	446	107	496
繰延税金資産	27,299	27,235	64	26,993
支払承諾見返金	18,507	13,944	4,563	14,294
貸倒引当金	69,037	24,846	44,191	26,998
資産の部合計	1,277,513	1,308,875	31,362	1,316,455
(負 債 の 部)				
預渡性預金	1,212,178	1,196,909	15,269	1,177,437
借入金	—	16,000	16,000	16,000
外国為替	—	10,000	10,000	45,800
社外債	2	4	2	2
その他の負債	10,000	35,500	25,500	35,500
賞与引当金	8,553	18,330	9,777	8,376
退職給付引当金	106	—	106	489
その他の偶発損失引当金	5,751	6,144	393	6,145
再評価に係る繰延税金負債	464	432	32	494
支払承諾	2,117	2,113	4	2,113
負債の部合計	18,507	13,944	4,563	14,294
負債の部合計	1,257,681	1,299,380	41,699	1,306,655
(純 資 産 の 部)				
資本金	34,262	34,262	—	34,262
資本剰余金	23,164	23,164	—	23,164
利益剰余金	37,875	48,332	10,457	48,695
自己株式	105	—	105	121
株主資本合計	19,446	9,093	10,353	8,609
その他の有価証券評価差額金	452	432	20	357
繰延ヘッジ損益	0	—	0	—
土地再評価差額金	838	833	5	833
評価・換算差額等合計	386	401	15	1,190
純資産の部合計	19,832	9,495	10,337	9,800
負債及び純資産の部合計	1,277,513	1,308,875	31,362	1,316,455

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 四半期損益計算書

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位: 百万円)

科目	前年同四半期 (A) (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年 6 月30日)	当四半期 (B) (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日)	比較増減 (B)-(A)	前事業年度の 要約損益計算書 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)
	金額	金額	金額	金額
経常収益	8,526	8,515	11	35,093
資金運用収益	7,410	7,176	234	29,132
(うち貸出金利息)	(6,818)	(6,427)	391	(26,652)
(うち有価証券利息配当金)	(522)	(659)	137	(2,208)
役務取引等収益	966	1,182	216	4,269
その他業務収益	77	25	52	509
その他経常収益	71	130	59	1,182
経常費用	59,693	8,134	51,559	96,891
資金調達費用	573	1,333	760	3,594
(うち預金利息)	(487)	(876)	389	(2,472)
役務取引等費用	629	613	16	2,383
その他業務費用	9	27	18	1,564
営業経費	4,302	4,762	460	17,579
その他経常費用	54,179	1,397	52,782	71,769
経常利益	51,166	381	51,547	61,797
特別利益	1	0	1	3
特別損失	17	12	5	136
税引前四半期(当期)純利益	51,182	368	51,550	61,930
法人税、住民税及び事業税	4,974	5	4,979	19
法人税等調整額	—	—	—	4,915
四半期(当期)純利益	46,208	363	46,571	57,034

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式会社 熊本ファミリー銀行

2. 四半期財務情報作成のための基本となる事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当行は、中間財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

【簡便な手続の内容】

貸倒引当金につきましては、平成19年6月末時点の債務者格付けに基づく対象残高に前事業年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）で使用したデフォルト率等を適用して算出しております。

当第1四半期における税金費用については、簡便法による税効果会計を適用しているため、法人税等調整額は四半期損益計算書「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当ありません。

平成19年度第1四半期 決算説明資料

■ 本説明資料では、各計数の定義を次のとおりとしております。

【FFG連結】	:	ふくおかフィナンシャルグループ連結の計数
【2行合算】	:	福岡銀行、熊本ファミリー銀行の単体計数を単純合算した計数
【福岡銀行連結】	:	福岡銀行グループ連結の計数
【熊本ファミリー銀行連結】	:	熊本ファミリー銀行グループ連結の計数
【福岡銀行単体】	:	福岡銀行単体の計数
【熊本ファミリー銀行単体】	:	熊本ファミリー銀行単体の計数

1. 損益の状況

【FFG連結】

【2行合算】

(単位: 億円)

	【FFG連結】	【行合算】
	平成19年度 第1四半期	
経常収益	【FFG連結】 2,350	【行合算】 2,300
業務粗利益		
資金利益		
役務取引等利益		
特定取引利益		
その他業務利益		
経費 (除く臨時処理分)		
一般貸倒引当金繰入額		
業務純益	【65】	
コア業務純益	【65】	
臨時損益等		
不良債権処理額		
特定海外債権引当勘定繰入額		
(信用コスト + + +)	【10】	(18)
株式等関係損益		
その他臨時損益等		
うち利息返還損失引当金繰入額		
経常利益	【600】	【645】
特別損益		
税引前四半期純利益		
四半期純利益	【645】	【400】

【行合算】			
平成19年度 第1四半期	平成18年度 第1四半期	前年同期比	(参考) 19年3月期
586	503	83	2,129
398	391	7	1,566
327	327	0	1,308
65	58	6	233
2	4	2	24
4	1	3	1
236	221	15	875
12	26	38	44
174	144	30	647
161	171	10	707
72	529	457	702
25	516	491	663
0	0	0	0
(14)	(542)	(528)	(719)
52	0	52	4
5	13	18	35
—	—	—	11
102	385	487	55
1	2	0	16
100	387	487	71
61	387	449	241

(注) 1. 記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。

2. コア業務純益(161億円) = 業務純益(172億円) + 一般貸倒引当金繰入額(10億円) - 国債等債券損益(1億円)

3. 【 】は平成19年5月14日に発表した【FFG連結】および【2行合算】の通期予想。

○【FFG連結】業績サマリー

経常収益 598億円

➤ 経常収益は、貸出金利息等資金運用収益の拡大および役務収益の増強に努めた結果、598億円となりました。【年度計画（公表予想計数）に対する進捗率25.4%】

経常利益 100億円

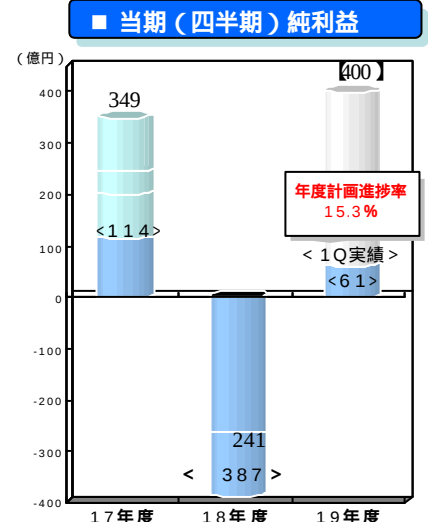
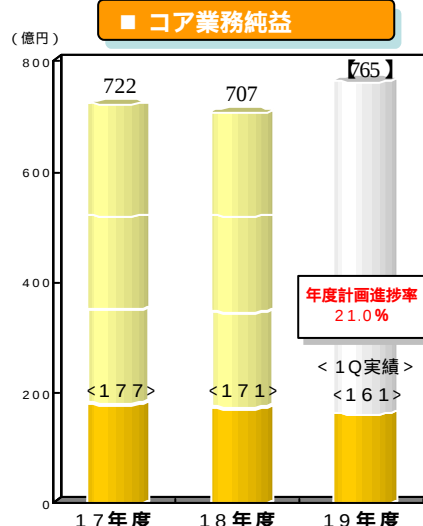
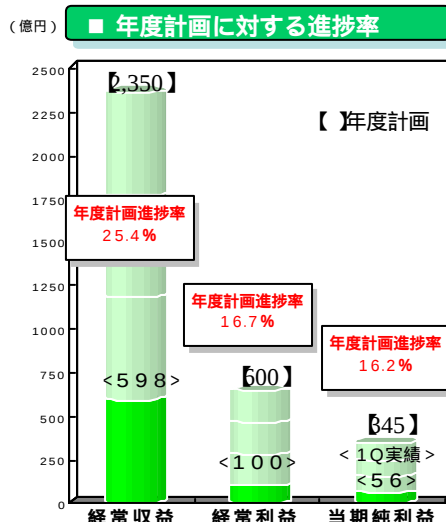
➤ 経常利益は、経営統合にかかる諸経費および株式等関係損失（ 52億円）を計上したため、100億円となりました。【年度計画（公表予想計数）に対する進捗率16.7%】

四半期純利益 56億円

➤ 上記より、四半期純利益は、56億円となりました。【年度計画（公表予想計数）に対する進捗率16.2%】

【FFG連結】

【2行合算】



【福岡銀行単体】

(単位: 億円)

	平成19年度 第1四半期	平成18年度 第1四半期	前年同期比	(参考) 19年3月期
経常収益 【1,900】	501	418	83	1,778
業務粗利益	334	319	15	1,302
資金利益	269	259	10	1,052
国内部門	260	247	13	1,009
国際部門	8	12	3	43
役務取引等利益	59	55	4	215
特定取引利益	2	4	2	24
その他業務利益	4	1	3	11
うち国債等債券損益	1	1	2	2
うち外為売買損益	1	2	1	9
経費 (除く臨時処理分)	191	179	11	705
一般貸倒引当金繰入額	14	24	10	23
業務純益 【640】	157	163	6	621
コア業務純益 【640】	142	140	1	600
臨時損益等	59	37	22	58
不良債権処理額	16	34	18	45
特定海外債権引当勘定繰入額	0	0	0	0
(信用コスト + + +) 【60】	(2)	(10)	(8)	(33)
株式等関係損益	51	7	58	11
その他臨時損益等	8	10	18	24
うち利息返還損失引当金繰入額	—	—	—	11
経常利益 【575】	98	126	29	563
特別損益	1	1	0	15
税引前四半期純利益	97	125	29	548
四半期純利益 【330】	58	75	17	330

(注) 1.記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。

2.コア業務純益(142億円) = 業務純益(157億円) + 一般貸倒引当金繰入額(14億円) - 国債等債券損益(1億円)

3.【 】は平成19年5月14日に発表した通期予想。

○【福岡銀行単体】業績サマリー

コア業務純益 142億円

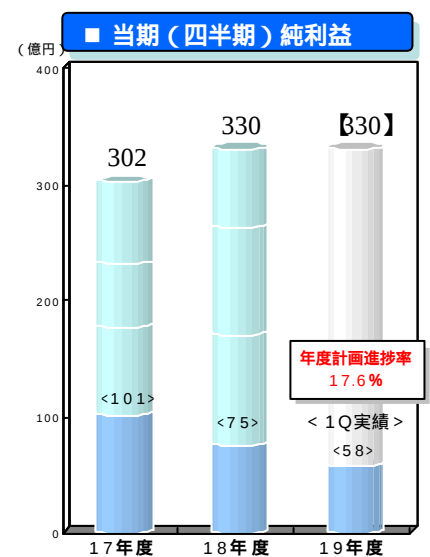
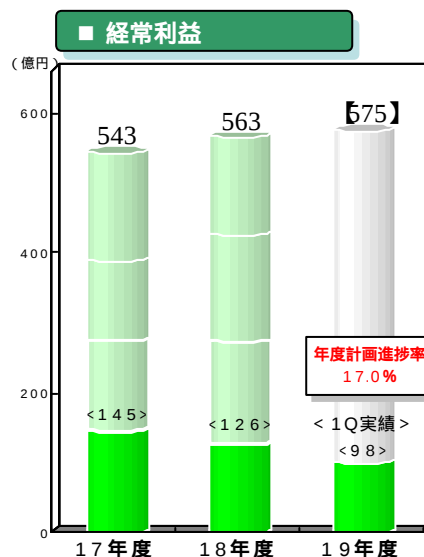
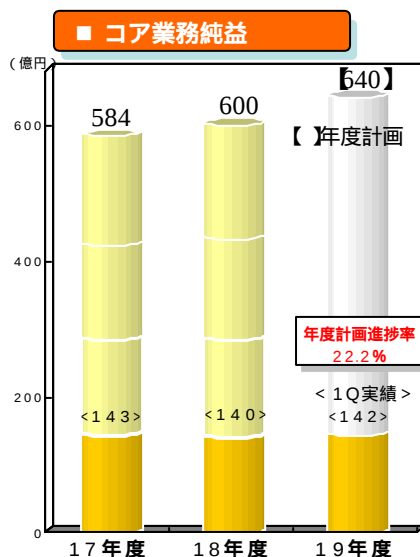
➤ コア業務純益は、貸出金利息等の資金運用収益の増加により、経営統合等による経費の増加をカバーし、前年同期比 + 1億円の増益となりました。
【年度計画 (公表予想計数) に対する進捗率22.2%】

経常利益 98億円

➤ 経常利益は、信用コストは2億円と引き続き低水準を維持したものの、株式等関係損失 (51億円) を計上したこと等により、前年同期比 29億円の減益となりました。
【年度計画 (公表予想計数) に対する進捗率17.0%】

四半期純利益 58億円

➤ 四半期純利益は、経常利益の減少により、前年同期比 17億円の減益となりました。
【年度計画 (公表予想計数) に対する進捗率17.6%】



【熊本ファミリー銀行単体】

(単位: 億円)

	平成19年度 第1四半期	平成18年度 第1四半期	前年同期比	(参考) 19年3月期
経常収益 【400】	85	85	0	351
業務粗利益	64	72	8	264
資金利益	58	68	10	255
国内部門	58	68	10	255
国際部門	0	0	0	1
役務取引等利益	6	3	2	19
特定取引利益	—	—	—	—
その他業務利益	0	1	1	11
うち国債等債券損益	0	0	0	13
うち外為売買損益	0	0	0	0
経費 (除く臨時処理分)	45	42	4	170
一般貸倒引当金繰入額	2	50	48	67
業務純益 【25】	17	19	36	26
コア業務純益 【25】	19	30	12	106
臨時損益等	13	493	479	644
不良債権処理額	10	482	472	619
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—	—	—
(信用コスト + +) 【50】	(11)	(532)	(520)	(686)
株式等関係損益	1	7	7	15
その他臨時損益等	3	3	0	11
経常利益 【70】	4	512	515	618
特別損益	0	0	0	1
税引前四半期純利益	4	512	516	619
四半期純利益 【70】	4	462	466	570

(注) 1. 記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。

2. コア業務純益(19億円) = 業務純益(17億円) + 一般貸倒引当金繰入額(2億円) - 国債等債券損益(0億円)

3. 【 】は平成19年5月14日に発表した通期予想。

○【熊本ファミリー銀行単体】業績サマリー

コア業務純益 19 億円

➤ コア業務純益は、資金調達コスト増加による資金利益の減少および経費の増加により、前年同期比 12億円の減益となりました。

【年度計画（公表予想計数）に対する進捗率15.2%】

経常利益 4 億円

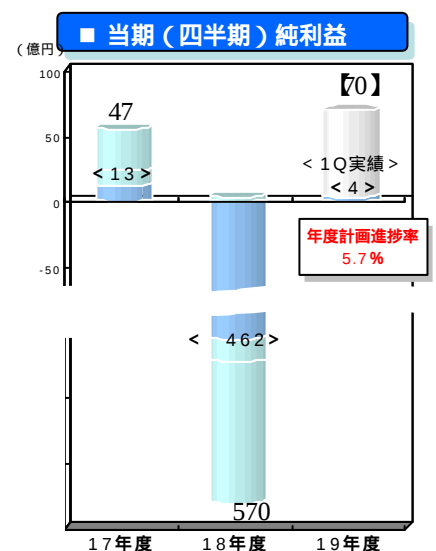
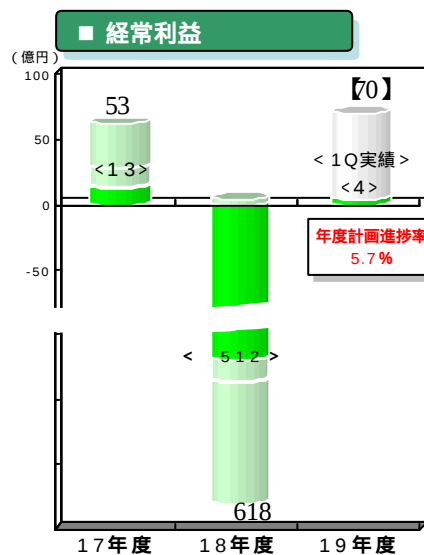
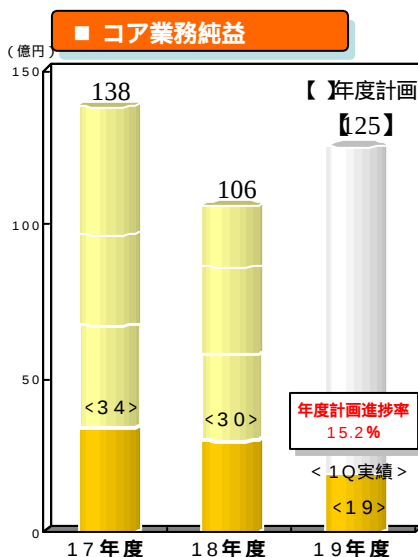
➤ 経常利益は、信用コストの減少（前年同期比 520億円）により前年同期比+515億円の増益となりました。

【年度計画（公表予想計数）に対する進捗率 5.7%】

四半期純利益 4 億円

➤ 四半期純利益は、経常利益の増加により、前年同期比+466億円の増益となりました。

【年度計画（公表予想計数）に対する進捗率 5.7%】



2. 資産・負債等の状況

(1) 貸出金の状況

【福岡銀行単体】

- 平成19年6月末の貸出金残高は、平成19年3月末比 407億円減少し53,401億円（前年同期比+1,934億円、年率3.8%）となりました。
- セグメント別残高は、個人向けは平成19年3月末比+40億円（前年同期比+797億円）、一般法人向けは同+28億円（同+1,408億円）、公共公社向けは同 475億円（同 271億円）となりました。
- ローン残高は、住宅ローンの増加により、平成19年3月末比+61億円増加し14,562億円となりました。

【熊本ファミリー銀行単体】

- 平成19年6月末の貸出金残高は、平成19年3月末比 271億円減少し9,535億円（前年同期比 377億円、年率 3.8%）となりました。（不良債権のオフバランス化による影響等）
- ローン残高は、住宅ローン増加により、平成19年3月末比+26億円増加し2,381億円となりました。

貸出金期末残高

部門別内訳

単位 億円

	【行合算】				【福岡銀行単体】				【熊本ファミリー銀行単体】			
	19年6月末 (年率：%)				19年6月末 (年率：%)				19年6月末 (年率：%)			
貸出金	(2.5%)	62,936	678	1,557	(3.8%)	53,401	407	1,934	(3.8%)	9,535	271	377
除く政府向け	(2.5%)	62,936	678	1,557	(3.8%)	53,401	407	1,934	(3.8%)	9,535	271	377
個人部門	(5.2%)	17,680	12	873	(5.7%)	14,829	40	797	(2.7%)	2,851	28	76
法人部門	(1.5%)	45,256	690	684	(3.0%)	38,572	447	1,137	(6.3%)	6,684	243	453
一般法人	(2.2%)	40,347	266	858	(4.3%)	33,939	28	1,408	(7.9%)	6,408	294	550
公共公社等	(3.4%)	4,909	424	174	(5.5%)	4,633	475	271	(53.8%)	276	51	96
政府向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県内貸出金					(3.2%)	42,375	647	1,321	(3.2%)	7,361	152	247

（注）県内貸出金は、【福岡銀行単体】は福岡県内の貸出金残高、【熊本ファミリー銀行単体】は熊本県内の貸出金残高。

ローン残高（末残）

単位 億円

	【行合算】				【福岡銀行単体】				【熊本ファミリー銀行単体】			
	19年6月末 (年率：%)				19年6月末 (年率：%)				19年6月末 (年率：%)			
ローン残高	(6.1%)	16,943	87	973	(6.0%)	14,562	61	823	(6.8%)	2,381	26	151
住宅ローン	(7.8%)	15,403	128	1,108	(7.3%)	13,275	87	906	(10.5%)	2,128	41	202
消費者ローン等	(8.1%)	1,539	41	135	(6.1%)	1,286	27	84	(16.9%)	253	15	51

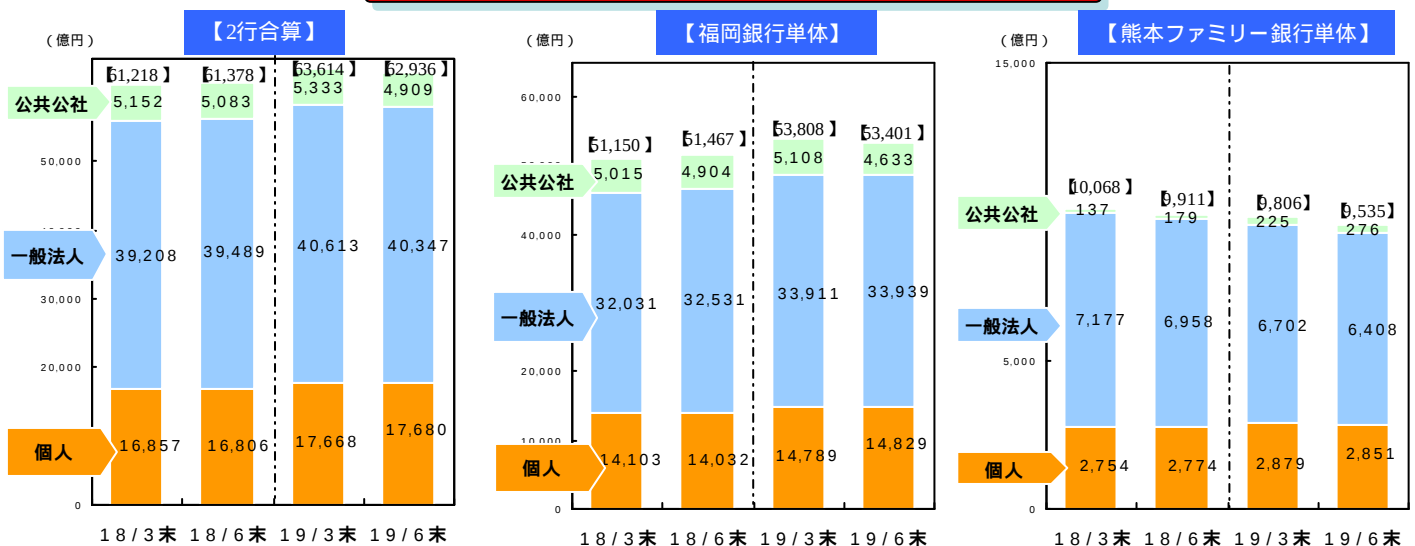
中小企業等貸出金残高（末残）・比率

単位 億円

	【行合算】				【福岡銀行単体】				【熊本ファミリー銀行単体】			
	19年6月末 (年率：%)				19年6月末 (年率：%)				19年6月末 (年率：%)			
中小企業等貸出金残高	(4.0%)	47,843	406	1,837	(6.5%)	39,275	110	2,404	(6.2%)	8,568	296	567
中小企業等貸出金比率	—	76.0%	0.2%	1.1%	—	73.6%	0.4%	1.9%	—	89.9%	0.5%	2.3%

（注）特別国際金融取引勘定を除く。

■ 貸出金（末残）



(2) 預金の状況

【福岡銀行単体】

- 平成19年6月末の総資金残高（預金+NCD）は、平成19年3月末比+1,453億円増加し、70,777億円（前年同期比+1,321億円、年率1.9%）となりました。
- 個人預金（年率2.4%）・法人預金（年率1.8%）ともに順調に推移しております。

【熊本ファミリー銀行単体】

- 平成19年6月末の総資金残高は、平成19年3月末比+195億円増加し、12,129億円（前年同期比+7億円、年率0.1%）となりました。
- 個人預金は、平成19年3月末比+197億円（前年同期比+157億円、年率1.8%）、法人預金は同 2億円（前年同期比 309億円、年率 9.4%）となりました。

預金期末残高

	【行合算】				【福岡銀行単体】				【熊本ファミリー銀行単体】			
	19年6月末				19年6月末				19年6月末			
	(年率: %)	19/3末比	18/6末比		(年率: %)	19/3末比	18/6末比		(年率: %)	19/3末比	18/6末比	
個人預金	(2.3%)	56,657	1,662	1,255	(2.4%)	47,654	1,465	1,098	(1.8%)	9,002	197	157
流動性	(3.1%)	29,468	1,021	884	(2.7%)	26,907	890	718	(7.0%)	2,562	132	167
固定性	(1.4%)	27,188	641	371	(1.9%)	20,748	576	381	(0.2%)	6,441	65	10
法人預金	(0.2%)	22,353	2,214	42	(1.8%)	19,386	2,212	351	(9.4%)	2,967	2	309
流動性	(1.0%)	16,723	2,684	168	(0.5%)	15,104	2,531	73	(5.5%)	1,619	153	94
固定性	(3.9%)	5,630	469	209	(11.0%)	4,282	318	424	(13.7%)	1,348	151	215
合計	(1.7%)	79,009	552	1,296	(2.2%)	67,040	747	1,449	(1.3%)	11,969	195	153
流動性	(1.6%)	46,191	1,662	716	(1.6%)	42,011	1,641	644	(1.8%)	4,180	22	72
固定性	(1.8%)	32,818	1,110	580	(3.3%)	25,030	894	805	(2.8%)	7,789	216	225

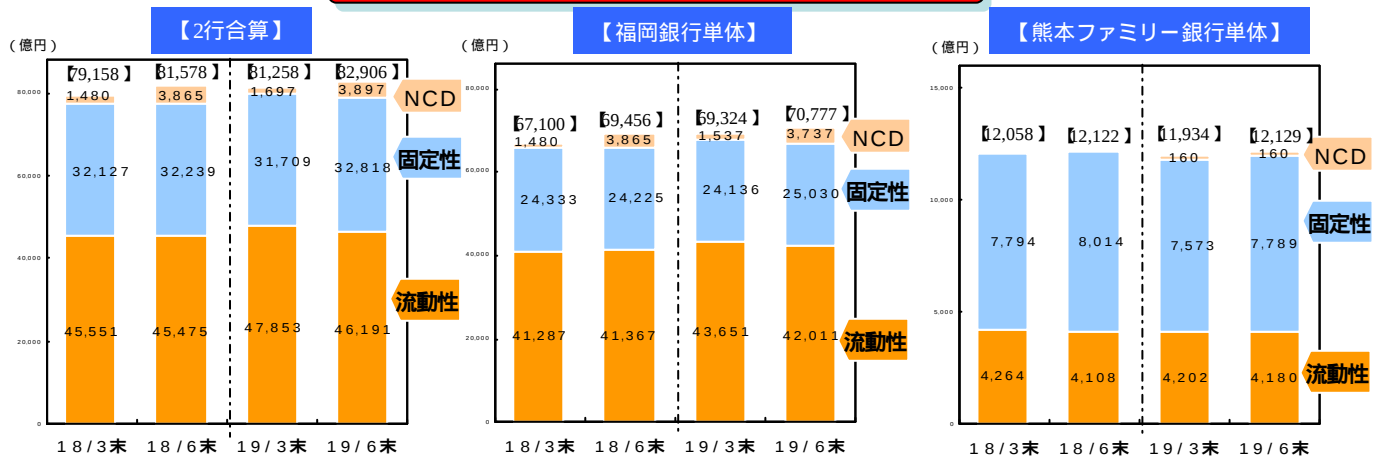
(注) 法人預金は、公金預金及び金融機関預金を含む。

県内預金	(2.0%)	62,991	465	1,232	(1.3%)	10,663	229	143
------	--------	--------	-----	-------	--------	--------	-----	-----

(注) 県内預金は、【福岡銀行単体】は福岡県内の預金残高、【熊本ファミリー銀行単体】は熊本県内の預金残高。

総資金(預金+NCD)	(1.6%)	82,906	1,648	1,328	(1.9%)	70,777	1,453	1,321	(0.1%)	12,129	195	7
-------------	--------	--------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	--------	--------	-----	---

■ 預金・NCD残高(末残)



(3) 資産運用商品の状況

【福岡銀行単体】

- 投資信託（平成19年3月末比+250億円）、個人年金保険（同+160億円）、公共債（同+305億円）は順調に増加し、個人預かり資産残高は、平成19年3月末比+702億円増加いたしました。

【熊本ファミリー銀行単体】

- 投資信託（平成19年3月末比+52億円）、個人年金保険（同+39億円）、公共債（同+9億円）は順調に増加し、個人預かり資産残高は、平成19年3月末比+100億円増加いたしました。

個人預かり資産残高

	【行合算】				【福岡銀行単体】				【熊本ファミリー銀行単体】			
	19年6月末				19年6月末				19年6月末			
	(年率: %)	19/3末比	18/6末比		(年率: %)	19/3末比	18/6末比		(年率: %)	19/3末比	18/6末比	
個人預かり資産残高	(43.3%)	10,609	802	3,206	(40.9%)	9,789	702	2,841	(80.0%)	820	100	365
投資信託	(43.9%)	3,782	301	1,153	(42.0%)	3,405	250	1,007	(63.6%)	378	52	147
個人年金保険	(40.9%)	2,448	199	711	(35.5%)	2,140	160	560	(95.6%)	307	39	150
外貨預金	(20.2%)	210	13	53	(20.1%)	208	13	52	(26.2%)	3	0	1
公共債	(50.3%)	4,169	314	1,395	(49.0%)	4,036	305	1,326	(106.8%)	133	9	69

(4) 時価のある有価証券の評価差額

【福岡銀行連結】

- 平成19年6月末の有価証券残高(時価)は、平成19年3月末比 1,705億円減少し17,455億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、国内外の金利上昇等により平成19年3月末比 81億円減少し+649億円となりました。

【熊本ファミリー銀行連結】

- 平成19年6月末の有価証券残高(時価)は、平成19年3月末比+13億円増加し2,318億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、金利上昇等により平成19年3月末比 10億円減少し 4億円となりました。

		19年6月末								19年3月末	18年6月末
		時 価	19/3末比	18/6末比	評価差額	当評価益	当評価損	19/3末比	18/6末比	評価差額	評価差額
【FG連結】	その他有価証券	19,634			610	878	268				
	株式	1,626			813	816	4				
	債券	12,220			181	2	183				
	国債	6,765			139	0	139				
	地方債	371			4	0	4				
	社債	5,084			38	2	40				
	その他	5,789			22	59	81				
	外国証券	5,223			63	17	80				
	その他	565			41	42	1				
【福岡銀行連結】	その他有価証券	17,455	1,705	1,330	649	907	258	81	77	730	572
	株式	1,548	99	288	841	844	3	43	26	798	815
	債券	10,119	2,174	2,329	170	3	173	38	49	132	219
	国債	5,318	1,134	1,520	131	0	131	18	14	113	145
	地方債	364	372	350	4	0	4	0	7	4	11
	社債	4,437	668	458	36	3	39	20	27	16	63
	その他	5,788	369	710	22	59	81	87	2	65	24
	外国証券	5,223	407	559	63	17	80	61	20	2	43
	その他	564	38	151	41	42	1	25	21	67	20
【熊本ファミリー銀行連結】	その他有価証券	2,318	13	694	4	31	35	10	0	6	5
	株式	216	2	18	20	31	11	1	1	19	20
	債券	2,101	11	768	24	0	24	11	1	13	25
	国債	1,446	21	624	20	0	20	8	2	11	18
	地方債	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	社債	648	10	140	4	0	4	3	3	2	7
	その他	1	0	56	0	0	0	0	0	0	0
	外国証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	1	0	56	0	0	0	0	0	0	0

- (注)1. 上記の平成19年6月末及び平成18年6月末の「評価差額」は各月末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。(平成19年3月末と同じベースで計上)
2. 「有価証券」について記載しております。譲渡性預け金、買入金銭債権中のコマーシャルペーパーは該当ありません。
3. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

		19年6月末								19年3月末	18年6月末
		帳簿価額	19/3末比	18/6末比	含み損益	当益	当損	19/3末比	18/6末比	含み損益	含み損益
【FG連結】		60			0	0	0				
満期保有目的の債券											
【福岡銀行連結】		60	0	0	0	0	0	0	0	0	1
満期保有目的の債券											
【熊本ファミリー銀行連結】		—	—	183	—	—	—	—	11	—	11
満期保有目的の債券											

時価のある子会社 関連会社株式は該当なし。

3. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

【福岡銀行単体】

- 平成19年6月末の「金融再生法開示債権」は、1,273億円（平成19年3月末比 48億円）、総与信に占める開示額の割合（不良債権比率）は、2.34%（同 0.07%）となりました。（部分直接償却前）
- なお部分直接償却を実施した場合の開示債権残高は1,134億円（同 64億円）、不良債権比率は、2.09%（同 0.10%）となります。

【熊本ファミリー銀行単体】

- 平成19年6月末の「金融再生法開示債権」は、539億円（平成19年3月末比 30億円）、不良債権比率は、5.56%（同 0.14%）となりました。（部分直接償却後）
- 不良債権比率は、前年同期比では 4.29%と大幅に低下しております。

① FFG連結

単位：億円

	【FFG連結】		
	19年6月末	19/3末比	18/6末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	528		
危険債権	628		
要管理債権	725		
合計 (金融再生法ベースの開示額)	1,882		

（注）【福岡銀行連結】は、部分直接償却を実施しておりません。
【熊本ファミリー銀行連結】は、部分直接償却を実施しております。

【参考】

【福岡銀行連結】が部分直接償却を実施した場合の開示債権残高及び不良債権比率

単位：億円

	【FFG連結】		
	19年6月末	19/3末比	18/6末比
合計 (金融再生法ベースの開示額)	1,701		
総与信に占める開示額の割合 (不良債権比率)	2.66%		

② 2行合算及び各銀行単体

単位：億円

	【2行合算】			【福岡銀行単体】			【熊本ファミリー銀行単体】		
	19年6月末	19/3末比	18/6末比	19年6月末	19/3末比	18/6末比	19年6月末	19/3末比	18/6末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	455	24	127	338	30	24	117	6	152
危険債権	627	41	466	429	6	194	198	36	272
要管理債権	730	12	13	506	12	27	224	1	14
合計 (金融再生法ベースの開示額)	1,811	77	607	1,273	48	197	539	30	410

総与信に占める開示額の割合 (不良債権比率)	2.34%	0.07%	0.48%	5.56%	0.14%	4.29%
---------------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

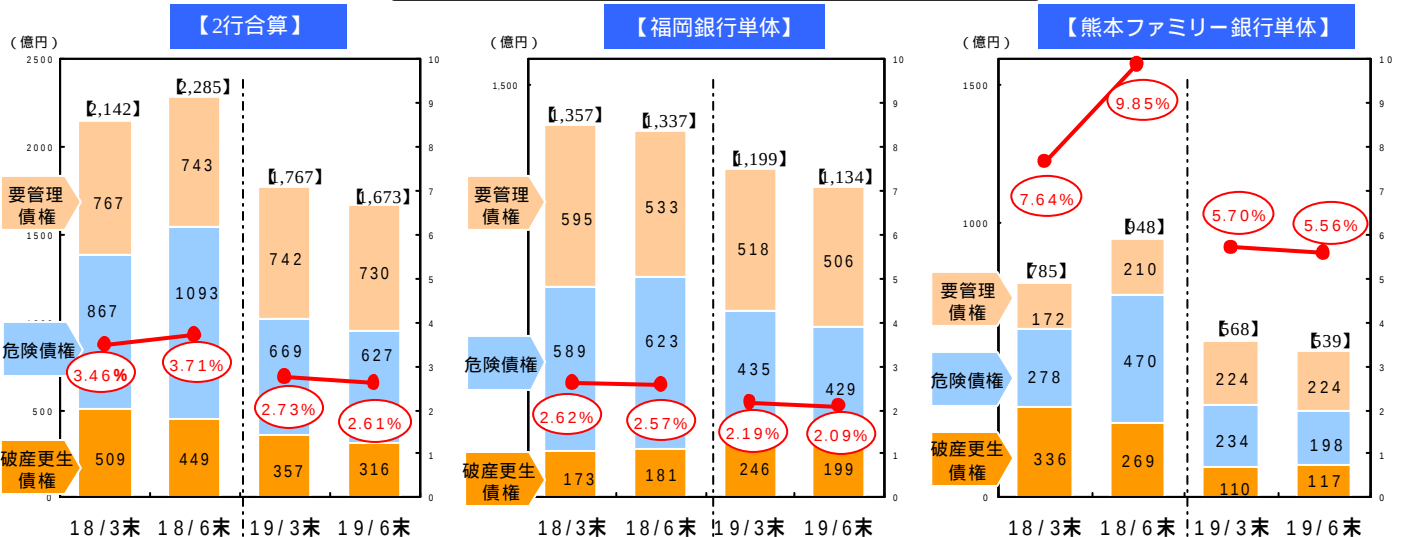
（注）【福岡銀行単体】は、部分直接償却を実施しておりません。【熊本ファミリー銀行単体】は、部分直接償却を実施しております。

【参考】 【福岡銀行単体】が部分直接償却を実施した場合の開示債権残高及び不良債権比率

単位：億円

	【2行合算】			【福岡銀行単体】			【熊本ファミリー銀行単体】		
	19年6月末	19/3末比	18/6末比	19年6月末	19/3末比	18/6末比	19年6月末	19/3末比	18/6末比
合計 (金融再生法ベースの開示額)	1,673	94	613	1,134	64	203	539	30	410
総与信に占める開示額の割合 (不良債権比率)	2.61%	0.12%	1.10%	2.09%	0.10%	0.48%	5.56%	0.14%	4.29%

■ 開示不良債権残高・比率（部直後）



4. 自己資本比率

平成19年6月末の自己資本比率につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。

5. デリバティブ取引

(1) 金利関連取引

(単位: 億円)

	区分	種 類	平成19年6月末			平成19年3月末			平成18年6月末		
			契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
【FPG連結】	取引所	金利先物	953	0	0						
	店頭	金利スワップ	3,764	11	10						
		金利スワップ・ション	871	0	7						
		キャップ	723	0	1						
		フロア	56	0	0						
	合 計			10	18						
【福岡銀行連結】	取引所	金利先物	953	0	0	35	0	0	50	0	0
	店頭	金利スワップ	3,764	11	10	3,644	11	11	1,669	6	5
		金利スワップ・ション	871	0	7	1,003	0	7	1,334	0	7
		キャップ	723	0	1	722	0	1	730	0	1
		フロア	56	0	0	60	0	0	—	—	—
	合 計			10	18		11	19		6	14
【熊本ファミリー銀行連結】	店頭	金利スワップ	32	0	0	32	0	0	—	—	—
	合 計			0	0		0	0		—	—

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は上記記載 から除いております。

(2) 通貨関連取引

(単位: 億円)

	区分	種 類	平成19年6月末			平成19年3月末			平成18年6月末		
			契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
【FPG連結】	店頭	通貨スワップ	5,857	13	13						
		為替予約	546	1	1						
		通貨オプション	263	0	0						
	合 計			15	14						
【福岡銀行連結】	店頭	通貨スワップ	5,857	13	13	5,993	14	14	4,219	13	13
		為替予約	545	1	1	577	2	2	488	2	2
		通貨オプション	263	0	0	239	0	0	105	0	0
	合 計			15	14		16	16		16	15
【熊本ファミリー銀行連結】	店頭	為替予約	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	合 計			0	0		0	0		0	0

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は上記記載 から除いております。

(3) 債券関連取引

(単位: 億円)

	区分	種 類	平成19年6月末			平成19年3月末			平成18年6月末		
			契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
【FPG連結】	取引所	債券先物	4	0	0						
	合 計			0	0						
【福岡銀行連結】	取引所	債券先物	4	0	0	5	0	0	3	0	0
	合 計			0	0		0	0		0	0
【熊本ファミリー銀行連結】	店頭	債券店頭オプション	—	—	—	—	—	—	50	0	0
	合 計			—	—		—	—		0	0

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は上記記載 から除いております。

(4) クレジットデリバティブ取引

(単位: 億円)

	区分	種 類	平成19年6月末			平成19年3月末			平成18年6月末		
			契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
【FPG連結】	店頭	クレジットデフォルトスワップ	10	0	0						
	合 計			0	0						
【福岡銀行連結】	店頭	クレジットデフォルトスワップ	10	0	0	—	—	—	—	—	—
	合 計			0	0		—	—		—	—

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は上記記載 から除いております。

(5) 株式関連取引 該当ありません。 (6) 商品関連取引 該当ありません。 (7) その他 該当ありません。